

留学生雇用・就職に係るアンケート結果と 県内就職促進の取組について

令和5年4月

大分県企画振興部国際政策課

アンケート調査（留学生の雇用について／就職について）

- 県内企業対象 「留学生人材活用・正社員雇用に関するアンケート調査」
- 県内留学生対象 「卒業後進路・就職に関するアンケート調査」

第 3 章

留学生の雇用について／就職について アンケート調査結果

2021年1月から2月にかけて、県内企業の皆様に「留学生人材活用・正社員雇用に関するアンケート調査」を実施いたしました。

同時に、県内留学生を対象に、「卒業後進路・就職に関するアンケート調査」を実施いたしました。ここにその結果を掲載いたしますので、県内企業における外国籍従業員の雇用の状況と意向、そして県内留学生の進路意向等をご高覧いただき、皆様の参考になれば幸いです。

企業むけ調査

● 調査期間 ●

令和3年1月4日～2月15日

● 調査対象 ●

県内企業

● 調査方法 ●

Webフォーム、メール、FAXによる回答

● 回収数 ●

154件

留学生むけ調査

● 調査期間 ●

令和3年1月8日～2月14日

● 調査対象 ●

県内高等機関に在籍する外国人留学生

● 調査方法 ●

Webフォームによる回答

● 回収数 ●

240件

令和4年(2022年)3月発行 “留学生就職ガイドブック 2022”

(大分県国際政策課 / おおいた留学生ビジネスセンター SPARKLE)

https://www.ucon-oita.jp/pdf/service_report_questionary2021.pdf

アンケート調査結果（留学生の雇用について）

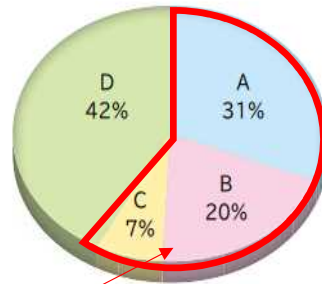
➤ 県内企業対象 「留学生人材活用・正社員雇用に関するアンケート調査」結果

Ⅱ. 留学生人材の活用について

Ⅱ. 在学中の留学生の能力を活用することの意向

(複数回答/回答数: 169)

A	ビジネスが必要があるときに、留学生にアルバイトで仕事を頼みたい	53
B	インターンシップ生として受け入れたい	33
C	その他の留学生人材の活用方法として	12
D	特に留学生を受け入れる意向はない	71



・約60%の企業が、
在学中の留学生人材を活用したいと回答

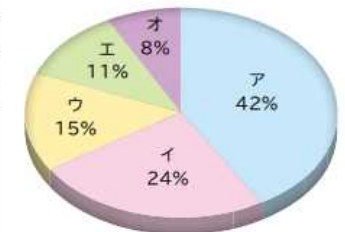
A. ビジネスが必要があるときに、留学生にアルバイトで仕事を頼みたい (53回答のうち、内容について複数回答/回答数: 67)

ア	通訳(海外からの来客時対応、海外出張や展示会への同行など)	26	
イ	翻訳(企業情報や商品パンフレット、ホームページ、引き合いメールなど)	22	
ウ	調査(対象の国の情報検索や企業探し、対象国の嗜好調査など)	13	
エ	その他	6	
	●人材不足のため、日本人と同じ仕事		2
	●業務等		各1
	●共に働く人材		
	●語学の勉強と海外の食文化の研修		
	●未記入		



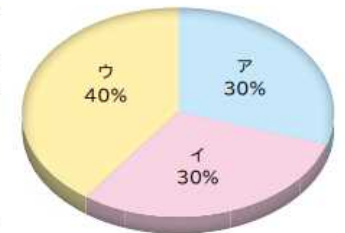
B. インターンシップ生として受け入れたい (33回答のうち、内容について複数回答/回答数: 53)

ア	将来、正社員雇用する場合の、準備的な研修として	22	
イ	社内活性化のため・新しい意見やアイデアを得るため	13	
ウ	海外出張や展示会に同行してもらう前の事前準備として	8	
エ	企業PRの一つ、国際貢献の一つとして	6	
オ	その他インターン生に依頼したいこと	4	
	●ビジネス実務以外で、自社で国際交流や文化交流の必要があるときに活用したい		2
	●インターンシップ生として海外出張や展示会等を含め業務の1つのスタッフとして		各1
	●現状把握		



C. その他の留学生人材の活用方法として (12回答のうち、内容について複数回答/回答数: 10)

ア	従業員向け語学研修の講師など、実務以外のところで活用したい	3	
イ	国際交流や文化交流の必要があるときに活用したい	3	
ウ	その他	4	
	●YouTubeやSNSを使って海外向けの情報発信を行う		各1
	●将来的に現地法人の経営幹部として育てたい		
	●海外出店、拠点開設など		
	●日本で数年勤務した後、母国での販促活動		



アンケート調査結果（留学生の雇用について）

➤ 県内企業対象「留学生人材活用・正社員雇用に関するアンケート調査」結果

・約40%の企業が、留学生を正社員採用したいと回答

一方で、県内企業が留学生と交流する機会が少なく、留学生の採用や、企業への情報発信やマッチング等への支援が必要との声あり。

Ⅲ-1. 県内大学を卒業する留学生を、正社員雇用する意向 (152回答)

正社員で採用したい	65
留学生は採用する予定はない	87

採用したい
65社の回答の内容

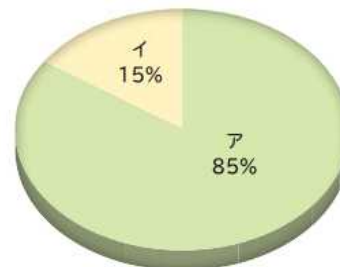
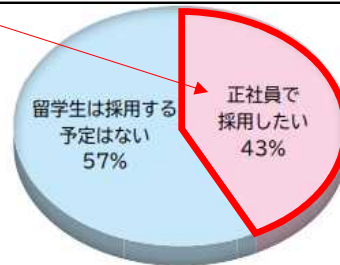
ア 日本人学生と同じ条件・同じ採用方法で、応募があれば、選考する	55
イ 留学生を積極的に採用したい	10

<求める人材> (複数回答/回答数：20)

理系（工学、建築、ITなど）	8
文系（経済、マーケティング、観光など）	7
学部に関係なく留学生の国籍・母語を必要とする（複数回答）	3
●中国 ●台湾 ●未回答	各1
その他	2
●学部・学科に関係なく人質重視で採用したい	各1
●やる気、まじめさ、社風に合うか	

<期待すること> (複数回答/回答数：21)

新しい発想や国際的能力を社内で発揮してもらい活性化につなげたい	7
自社の取引国・取引予定国との貿易の円滑化や橋渡しの役割	5
将来、退社後母国に帰ってから、ビジネスパートナーになってもらいたい	4
海外進出先（予定先）の、支社や工場の管理職になってもらいたい	3
その他	2
●母国で生かせるノウハウを身につけてほしい ●戦力として期待	各1



V. 行政に対する外国人材採用支援についての意見や問題点

- 外国人材の採用に当たっては、業種、日本語レベル、やりたい業務内容、勤務期間など外国人材側の希望についての情報が必要である。交流の機会・マッチングの機会をもっと増やし、留学生の参加人数も増やして欲しい。
- 外国人採用に関するセミナーや、事例、手続きに関する支援がほしい。
- 外国人雇用の現場にあうように在留資格の条件や期限の緩和をしてほしい。
- 長期間勤務しなければ技術を習得できない業種もあり、外国人を雇用していく際には様々な課題があるので、採用に当たっては事前に社内によく検討し、調整していく必要がある。
- 中小企業では給与面が難しい。
- 日本で生活する上での様々なルールや行政の施策などについて理解してもらう必要がある。
- 行政から発信される情報については、極力、外国人材の主な出身国の母国語でも発信してほしい。
- 日本や大分での生活に魅力を感じてもらえるよう、情報発信していくことが必要。実際の受入れに当たっては企業側の工夫も必要である。
- 外国人の雇用に当たっては、人権についても十分な配慮が必要である。
- 将来のことを考えると外国人材の雇用は前向きに検討すべき問題であるとする。

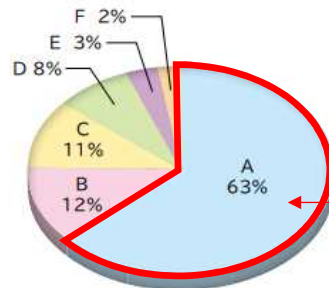
アンケート調査結果（留学生の就職について）

➤ 県内留学生対象 「卒業後進路・就職に関するアンケート調査」結果

7. 卒業後は、どうしたいと考えていますか？

(回答数：240)

A 日本国内で就職したい	152	
B 日本国内でさらに進学したい	29	
C 母国に帰国（以下複数回答可）		
母国にある日系企業で就職したい	13	26
特に企業は決めていないが、母国で就職したい	11	
特に企業は決めていないが、母国で日本との懸け橋となる仕事をしたい	6	
母国で起業	1	
母国でさらに進学	0	
その他	1	
D 母国以外、日本以外で進学または就職したい	19	
E 起業したい		
福岡など、九州内	4	8
大分県内	2	
東京や大阪などの大都市	2	
他の国で	0	
母国で	0	
その他	0	
F その他		
まだ決めていない	6	

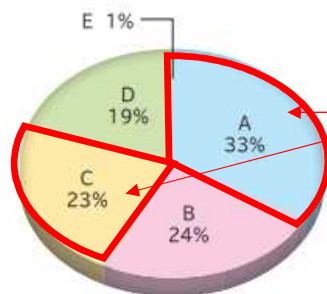


・63%の留学生が、「日本国内で就職したい」と回答

勤務地について

(複数回答/回答数：190)

A 自分のやりたい仕事ができるなら、場所はどこでもいい	63
B 東京や大阪などの大都市に行きたい	46
C 大分県内がいい	43
D 九州内がいい	37
E その他	1
関西圏	



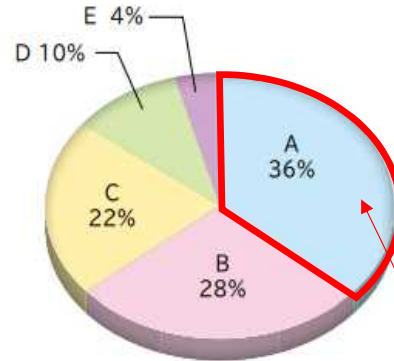
・「やりたい仕事があればどこでもよい」、「就職は大分県内がよい」と約60%の留学生が回答

アンケート調査結果（留学生の就職について）

➤ 県内留学生対象「卒業後進路・就職に関するアンケート調査」結果

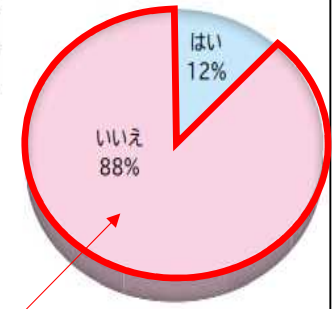
4. 留学先に大分県を選んだ理由（複数回答/回答数：278）

A 今の所属大学に魅力があったから・学びたい学部や先生がいるから	101
B 母校の高校や大学から推薦があった	77
C 知人・親戚などが大分県にいるから、または大分県を勧められたから	60
D 母国から近い九州地域で大学を探したから	29
E その他	
行きたい日本語学校が大分県にあるから	4
APUが大分県にあるから	1
生活費が安いから	1
大分県が国際的な環境だから	1
福岡で勉強をしていたから	1
自分と同じ国の人が少ないと思ったから	1
母国と気候が似ていると思ったから	1
東日本は地震の影響が心配だから	1
	11



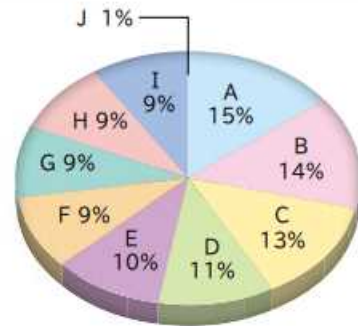
6. 大分県内でインターンシップをしたことはありますか？（回答数：240）

はい	29
いいえ	211



就職活動をする時にあったらよいサービス（複数回答/回答数：437）

A 就職活動の方法や先輩の体験談などの勉強会	64
B 留学生を求人している企業の情報を知る手段	62
C 社会人を体験することを目的としたインターンシップ	58
D 企業見学会や会社を知る、短いインターンシップ	47
E 企業と留学生が直接話せる交流会	45
F 就職に有利になりそうな日本語能力向上プログラム	41
G その会社への就職を目的としたインターンシップ	40
H 複数の企業合同の就職説明会、面談会	40
I 在留資格（就労ビザ）や社会的な手続きについて学ぶ会	39
J その他	
キャリアオフィス	1



- ・県内大学に魅力を感じ、大分県を選ぶ留学生が多い一方
- ・インターンシップをした留学生は少ない状況

- ・企業説明会、インターンシップなど、企業とのマッチング機会の提供を求める回答が多い



おおいた留学生ビジネスセンターや、インターンシップ実施支援を通じて、留学生や留学生OBに対し、県内就職・起業についての情報提供やマッチング支援を行うこと等により、留学生の県内定着を充実させていく。

おおいた留学生ビジネスセンター(SPARKLE)運営事業

根拠: 「大分県海外戦略」 戦略2 海外の人材を取り込む (1)留学生に対する支援と県内定着支援 ②留学生等の県内定着支援

目的	外国人留学生の県内定着	1 留学生の県内企業への就職を支援する 2 留学生等の県内における起業を支援する 3 留学生と協働して、大分県内でビジネスを展開したい企業等を支援する ①留学生の力を活かした県内企業の海外展開支援 ②留学生の力を活かした県内産業(インバウンド観光、県産品輸出等)の振興
		所在地:別府市京町11-8 APU PLAZA 2階 営業時間:10:00~20:00 施設内容:個室2部屋(1年目 15,000円、2年目 25,000円、3年目 35,000円) ブース席10(5,000円/月、ただし留学生は1年目に限り2,000円/月) ※シニアインキュベーションマネージャー、インキュベーションマネージャーが常駐

H28~
※大学コンソーシアム
おおいたに委託

就職支援	合同企業説明会(6回)	留学生の新採用社員合同研修(2回)	九州各県連携 Work in Kyushu	就職・起業相談(随時)
	留学生の企業見学会(4回)	留学生向け県内企業ガイドブック作成		
	留学生採用企業開拓	日本語能力向上プログラム		
起業支援	先輩起業家との交流会(4回)	ビジネスプラン基礎講座(12回)		
	シニアIM定期相談会(48回)	大学での出張起業セミナー		
Uターン促進	県外で就職・進学した留学生OBOGの県内就職・起業促進			
在留資格(ビザ)変更手続き	行政書士定期相談会			

利用状況等

	2020年度	2021年度
ビジネスセンター利用者数	3,216人	3,291人
就職・起業相談件数	235件	240件
ビジネスセンターで支援した留学生の県内就職・起業者数	13人 (就職7、起業6)	12人 (就職8、起業4)

インキュベーション施設入居者一覧

2023年4月1日時点

	企業名・団体名	創業年月	事業分野	事業内容
個室B	天豊(株) (2023年2月入居)	2019年(R1) 9月	輸出入業	代表 張 強(中国出身・別府大学卒) 再生金属資源事業や会議用液晶パネルの販売、体験型グランピング事業などを展開。
1	合同会社Bagdoom (2021年11月入居)	2021年(R3) 11月	IT業	代表 レザー イフタカー(バングラデシュ出身・APU卒) (株)MOVALIN代表のラフィ氏とともに創業。 デザイン関連案件のアウトソーシングなど。
2	HENNGE(株) (2020年5月入居)	1996年(H8) 11月	情報・通信業	企業向けSaaS認証基盤(IDaaS)の提供。新ビジネス創出のための調査活動やビジネスアイデアと人材のマッチングなどを行う。
3	Lion Hub(株) (2020年6月入居)	2020年(R2) 6月	輸入・販売業	代表 デシルバ ラクシャーン アンジェロ(スリランカ出身・APU卒) 飲食店の経営、母国の食品・スパイスなどの輸入・販売。
4	言語井合同会社 (2020年12月入居)	2020年(R2) 10月	教育業	代表 リーケン イサベラ(ドイツ出身・APU卒) オンライン言語学習プラットフォームの構築・提供など。
5	BLND Empire Group(株) (2020年11月入居)	2021年(R3) 12月	輸出業	代表 オボン シュナイダー コリンズ(ガーナ出身・APU院卒) 中古車のパーツ等の輸出業。
6	(株)ナザレーディング (2021年4月入居)	2021年(R3) 4月	輸出業	代表 ウディン ヘルル(バングラデシュ出身・APU院卒) 中古車のスベアパーツの輸出業。
7	(株)MOVALIN (2021年5月入居)	2021年(R3) 10月	小売業	代表 ラフィル バイヤット(バングラデシュ出身・APU院卒) ファッションアクセサリーなどの小売業。

外国人留学生インターンシップ支援事業

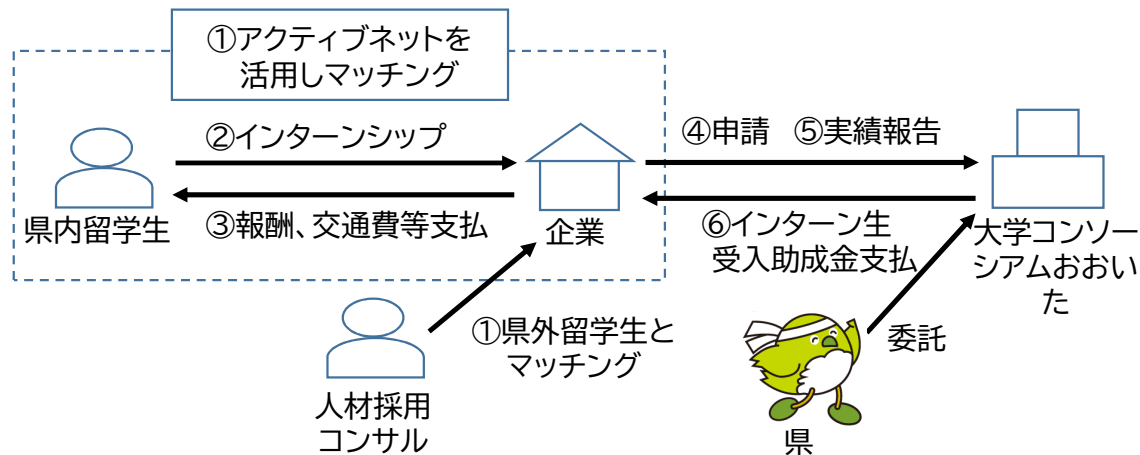
目的

○県内企業におけるインターンシップ実施を支援し、留学生と企業双方の理解を促進することにより、留学生の県内定着を促進するとともに、企業の人材確保を支援する ※令和4年度から事業開始

具体的取組み内容

- インターンシップ実施に係るマッチング支援(フェア開催、企業募集、留学生募集、日程調整等)
- インターンシップ受入れ企業への助成金支給(報酬、交通費等)

<R4実施スキーム:大学コンソーシアムおおいたへ委託>



○助成金内訳 ※1社あたり3名まで

- (1)留学生への報酬見合 一律 5,000円/人(最大5日)
- (2)交通費(県内留学生) 一律 1,200円/人(最大5日)
(県外留学生) 実費 上限8,000円/人
- (3)宿泊費(県外留学生) 実費 上限7,800円/人(最大5日)
(県内留学生) 実費 上限7,800円/人(最大5日)



インターンシップフェアの様子(7/16開催)

実績

- 令和4年度は、延べ83名の留学生が34社でインターンシップを実施(貿易、宿泊、IT、建設、サービス等)
- 今回のインターンシップをきっかけとして、留学生を採用した企業も既に出てきている

(企業・留学生の声)

- ・インターンシップは初めてだったが、企業としてもよい経験となった。国際色豊かで素晴らしい人材に出会える機会として、今後もインターン受け入れ活動を積極的に行いたいと考えている。(カー用品、アウトドア用品等の企画製造販売・輸出入:大分市)
- ・今回2社のインターンシップに参加した。インターンシップに参加するのが初めてで、最初は緊張したが、会社も社員の方たちが丁寧に仕事について教えてくれたので、非常にありがたかった。今まで大分県にどんな企業があるのか全く知らず、卒業後大分で就職することはあまり考えていなかったが、今回の経験を通して地域企業の良さを感じたことで、卒業後の進路の選択肢が増えたように思う。(APU2年生/中国/男性)

企業の皆様におかれても是非、受入れをしていただきたい

世界とつながり、 発展する大分県を目指して

令和5年4月
大分県 商工観光労働部

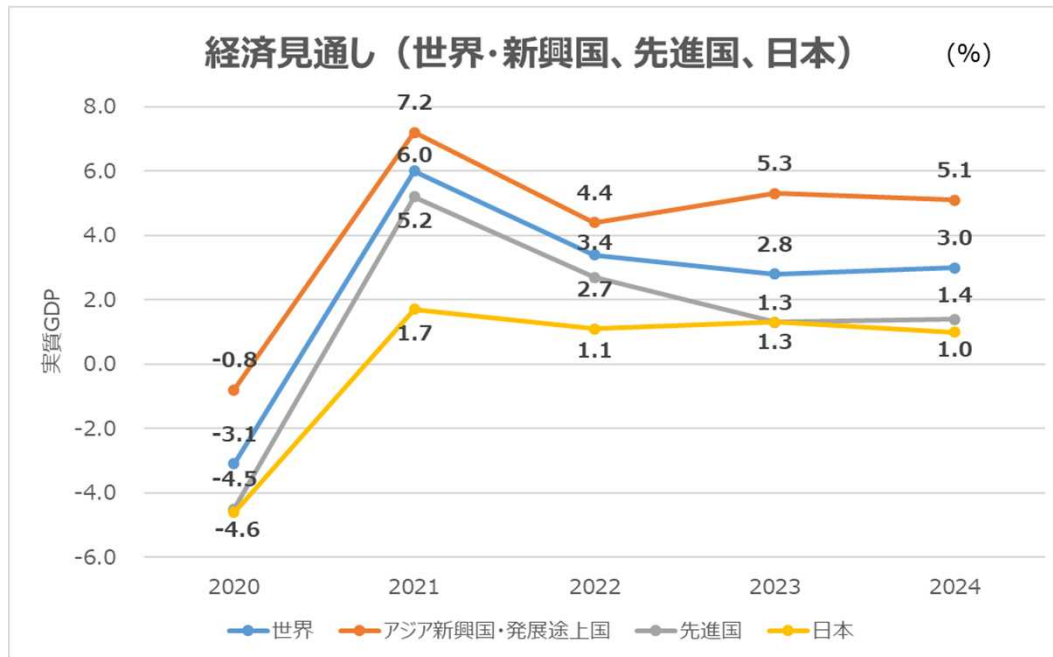
アジアのゲートウェイ・九州

- 九州は、東アジアの中心に位置。ソウルや上海は、東京とほぼ同じ距離であるなど、日本の「アジアの玄関口(ゲートウェイ)」。
- この地理的な優位性を、県及び地域の社会・経済の発展につなげていくことが重要。



アジアの成長

- ポストコロナにおいても、アジアを中心とした新興国では、引き続き高い経済成長が見込まれる。
- 特に、6億人超の人口を抱えるA S E A N諸国の消費市場・生産拠点としての魅力は依然として高い。
- また、アジアを中心とした新興国では、とりわけ都市部の人口が多く、1千万人を超える都市も。一人当たりGDPは国平均より高く、2倍以上の都市も多く見られ、購買力も旺盛。



出典：IMF「World Economic Outlook」

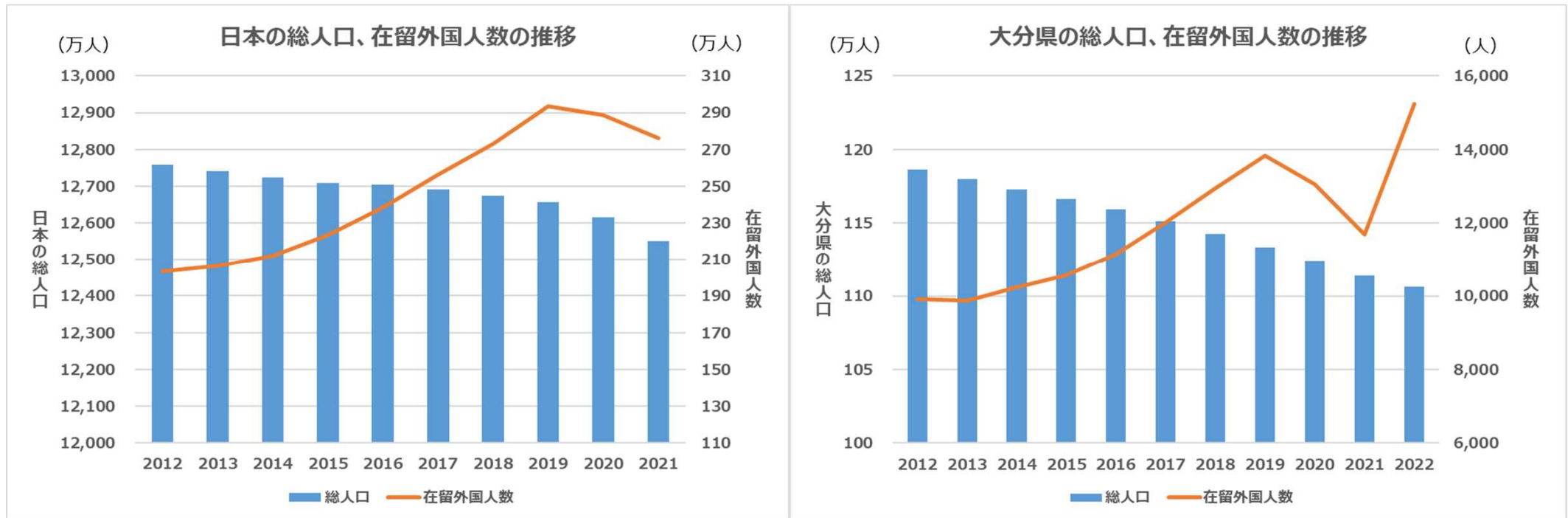
主要都市(圏)の一人当たりGDP(推計)

国	都市	人口 (万人)	一人当たりGDP (USDドル)	国全体
中国	北京市	1,861	19,935	10,242
	上海市	2,415	19,571	
	天津市	1,208	18,382	
	深セン市	1,259	27,184	
	広州市	1,531	22,317	
	武漢市	1,089	18,340	
	江蘇省	7,866	16,560	
	浙江省	5,443	14,227	
	湖北省	5,724	9,303	
タイ	バンコク	1,703	14,601	6,820
マレーシア	クアラルンプール	838	20,575	12,063
インドネシア	ジャカルタ	3,774	7,812	4,702
フィリピン	マニラ	3,157	7,838	4,366
ベトナム	ハノイ	842	4,145	2,593
	ホーチミン	1,295	5,101	
日本	-	12,622	40,048	-

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング、ジェトロ資料等を基に作成
タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムについては2020年推定値

内なるグローバル化の進展

- 国内人口は減少する一方で、国内に在留する外国人は増加。2021年12月現在の在留外国人数は約276万人（総人口の2.2%）で、10年前と比べ約70万人も増加。
- 大分県においては、在留外国人は2022年12月末現在15,249人で人口の約1%。



出典：総務省人口統計、在留外国人統計、大分人口統計等を基に作成

大分県海外戦略 Be on the Offensive! (2022~2024)

- 大分県では、長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」（2005年策定、2012年改定）に基づき、県の海外施策の取り組むべき方向性を示す羅針盤として、2011年に「大分県海外戦略」を策定。
- その後、第二期（2015年～）、第三期（2019年～）を経て、2022年3月に第四期戦略を策定し、現在実行中。

目指すべき将来像

「海外の成長を取り込みつつ共に発展する」大分県として、以下のような将来像を目指します。

- グローバルなものづくり産業の拠点となり、県産品の輸出やインバウンドの増加を通じ、県内産業の発展や地方創生につながる好循環を生み出す大分県
- 留学生や技能実習生等から働く場所として選ばれるとともに、海外企業との人材・技術の交流を通じて発展する大分県
- 日本人と外国人が互いの文化的違いを認め合い、お互いを尊重し、対等な関係を築きながら共生する大分県
- 国際交流や国際的な芸術文化イベント、スポーツイベントが活発に行われる大分県
- 青少年が異文化を直接体験し、国際感覚を養うことができ、また海外展開を図る中小企業の人材が育ち、グローバル人材が活躍する大分県

海外戦略の柱

戦略 1 海外の活力を取り込む

戦略 2 海外の人材・技術を取り込む

戦略 3 多文化共生の推進

戦略 4 国際交流・国際貢献の推進

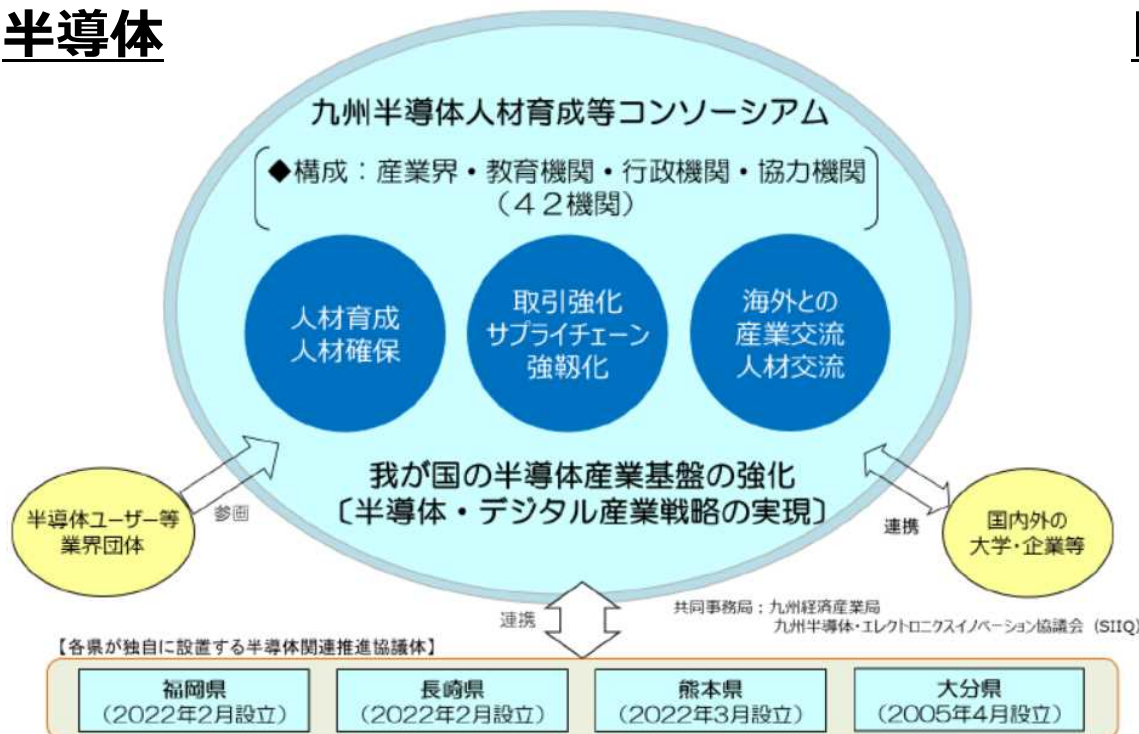
戦略 5 国際人材の育成・活用

 [今回紹介](#)

戦略1 海外の活力を取り込む ①

- 少子高齢化や人口減少の進展に伴い、国内需要の縮小が懸念され、海外の活力を積極的に取り込むことがますます必要。
- 大分県においても、今後も成長が見込まれるアジアの発展をビジネスチャンスとして捉え、アジアの成長を取り込むとともに、同時に、欧米等にもそのウイングを広げていくことが重要。
- そのため、国際競争力の高いグローバルな視点を持ったものづくり産業の拠点確立と海外市場開拓を図るとともに、県産品の輸出については、国が令和2年11月に策定した「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」も踏まえ、戦略的な販路拡大に取り組む。新型コロナウイルス感染症収束後には、商流の活性化に加え、さらなる誘客及び受入れ態勢整備による国際観光の振興に取り組む。

半導体



医療機器



戦略1 海外の活力を取り込む ②

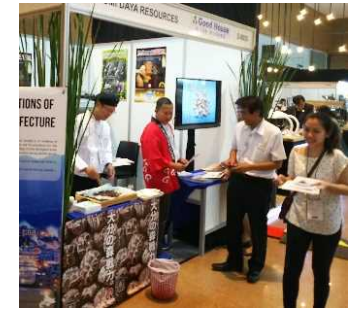
農林水産物・食品



台湾量販店におけるフェア（日田梨）

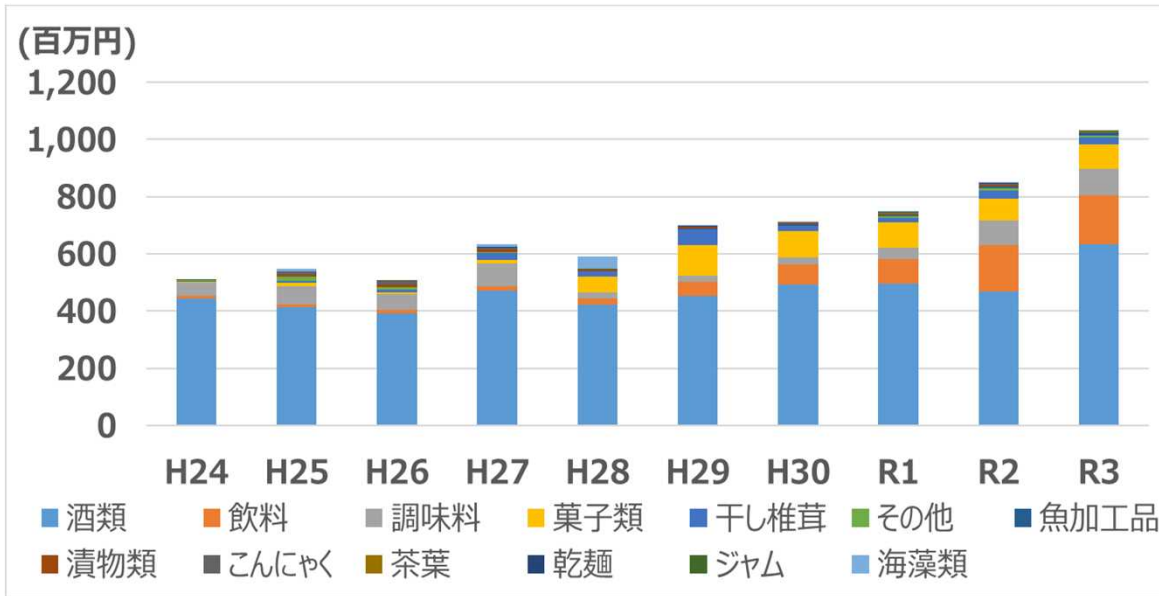


シンガポールへの輸出が始まった養殖マガキ



インドネシア商談会出展（乾しいたけ）

大分県産品の輸出推移（平成24年～令和3年）



出典：令和4年度県産加工食品の輸出に関するアンケート調査（大分県商業・サービス業振興課）

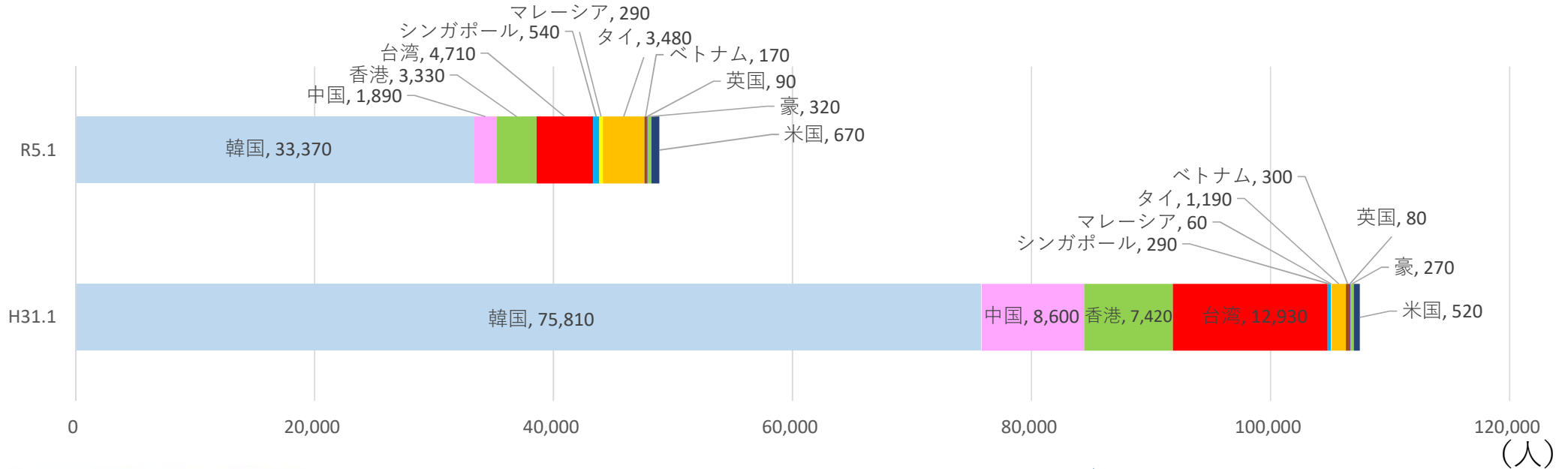
令和3年度の九州各県における加工食品を含む農産物輸出金額

※林産物除く

2021年度全国農水産物輸出実績（農水省調べ）	
大分県	約25億円
福岡県	約45億円
長崎県	約53億円
熊本県	約64億円
宮崎県（加工食品除く）	約88億円
鹿児島県	約277億円

海外誘客（インバウンド）の推進

大分県の外国人宿泊者数（主要国・地域抜粋）：観光庁統計



自然体験型アクティビティ



耶馬溪でのサイクリング体験



大分空港は宇宙港へ



戦略2 海外の人材・技術を取り込む ①

- 県内企業の活性化や海外展開の促進のためには、世界94か国・地域から来ている多くの留学生に活躍してもらうことが重要。
- そのため、就職や起業等の支援を通じて留学生の県内定着を図るとともに、あわせて、海外県人会や留学生OBOG等の海外ネットワークの拡大を図る。
- また、先端技術分野において、海外の技術を積極的に取り込むとともに、労働力人口が減少する中で今後ますます重要となる外国人材の適正・円滑な受入れにも取り組む。

留学生

大学・高専在籍留学生の状況（専修学校（専門課程）・準備教育課程を除く）

順位	都道府県名	R3		
		留学生数(人)	人口(千人)	人口比(人) (10万人当たり)
1	京都	11,075	2,561	432.4
2	大分	3,260	1,114	292.6
3	東京	40,970	14,010	292.4
4	福岡	8,006	5,124	156.2
5	山口	1,724	1,328	129.8
	全国計	129,258	125,502	103.0

※留学生数：日本学生支援機構（JASSO）外国人留学生在籍状況調査（令和3年5月1日時点）
人口：総務省統計局「令和3年10月1日現在推計人口」



酒造工場見学



煎餅の手塗体験

外国人労働者

大分県内の外国人労働者数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
計	4,689	5,458	6,254	7,368	7,591	7,313	8,383
在留資格別							
技能実習	2,326	2,624	3,094	3,796	3,978	3,528	3,670
資格外活動(留学等)	1,065	1,492	1,572	1,616	1,534	1,292	1,707
専門的・技術的分野	511	554	671	874	903	1,137	1,535
うち特定技能	-	-	-	-	56	228	470
身分に基づく在留資格	736	718	840	908	969	1,058	1,098
特定活動	51	70	77	174	207	298	373

※大分労働局「外国人雇用状況調査」(各年10月末現在)



合同企業説明会の様子



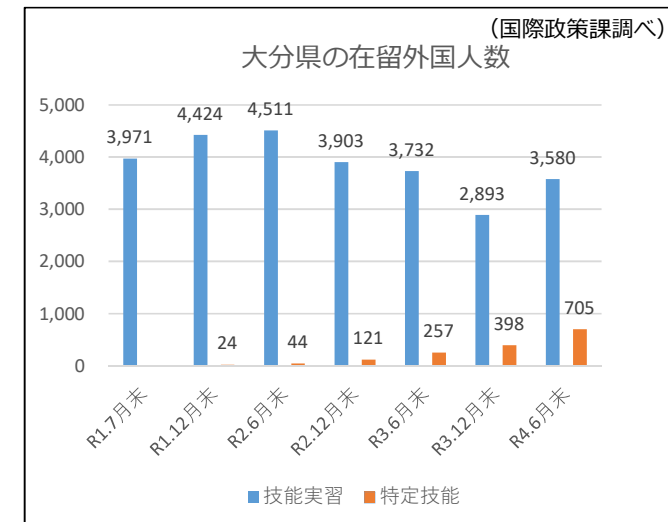
資本金要件緩和を活用して
起業した(株)マイニチモンキー

外国人労働者受入対策強化事業

- **外国人材の受入れ・共生のための対応策協議会の開催**（毎年2回開催）
 県と市町村、関係機関が足並みをそろえ、外国人材の適正かつ円滑な受入れ促進や共生のための環境整備
 ・外国人材の受入れ・共生に係る取組を行っている県内関係者等への講演依頼
- **各種セミナーの開催**
 見直しが検討されている在留資格制度に関するセミナーを開催し、企業の適正な外国人材の受入れをサポート
 ・外国人材セミナー（R5.2.13）
 ・ダイバーシティ&インクルージョンセミナー（R5.3.22） など
- **外国人技能実習生等入国時滞在費補助金による支援**
 外国人技能実習生等を受け入れる企業に対して、実習生の宿泊費および交通費の一部を補助
 R4年度実績：補助件数85件、補助人数254人
 ※R5年度は、外国人材定着に向けた就労環境等の整備に対しての補助金を検討中



- 外国人労働者が仕事でも生活でも満足できる環境づくり
 →大分県が外国人労働者に選ばれる地域に



▶ 大分県で働く魅力を伝える動画の発信

目的

日本での就労を希望する海外の外国人材に向けて、大分県で働く外国人材の仕事や暮らしを紹介する動画を作成して発信することで、働きやすく暮らしやすい大分県の魅力を伝え、外国人材から選ばれる県となることを目指す。

大分で働く魅力を伝えるための動画を作成し、国内外の外国人材へ向けて発信する。

ポイント

- ・大分県についての魅力を、外国人の言葉で伝える
- ・実際に働いている姿を見せて、具体的に就労環境・生活環境をイメージさせる

ターゲット

- ・ベトナム、ミャンマー、カンボジア国籍等の外国人材
- ・現地の日本語学校等へ通っている10代後半～20代の学生（将来日本で働くことを検討している外国人）
- ・県外在住の外国人（技能実習生、特定技能外国人、留学生等）



動画について

- ・ベトナム版、ミャンマー版、カンボジア版の3つを作成
- ・音声はそれぞれの言語で、日本語、母国語の字幕付
- ベトナム版：ベトナム語
- ミャンマー版：ミャンマー語
- カンボジア版：クメール語
- ・動画は5分版と30秒のダイジェスト版の2種類
- ・YouTube、Facebookにて公開

動画QRコード

ベトナム版
(佐伯市・水産加工工場)

YouTube



Facebook



ミャンマー版
(国東市・縫製工場)

YouTube



Facebook



カンボジア版
(日田市・介護事業所)

YouTube



Facebook

